

2020年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 通期の業績見通し
3. 当社の経営戦略

2019年11月8日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



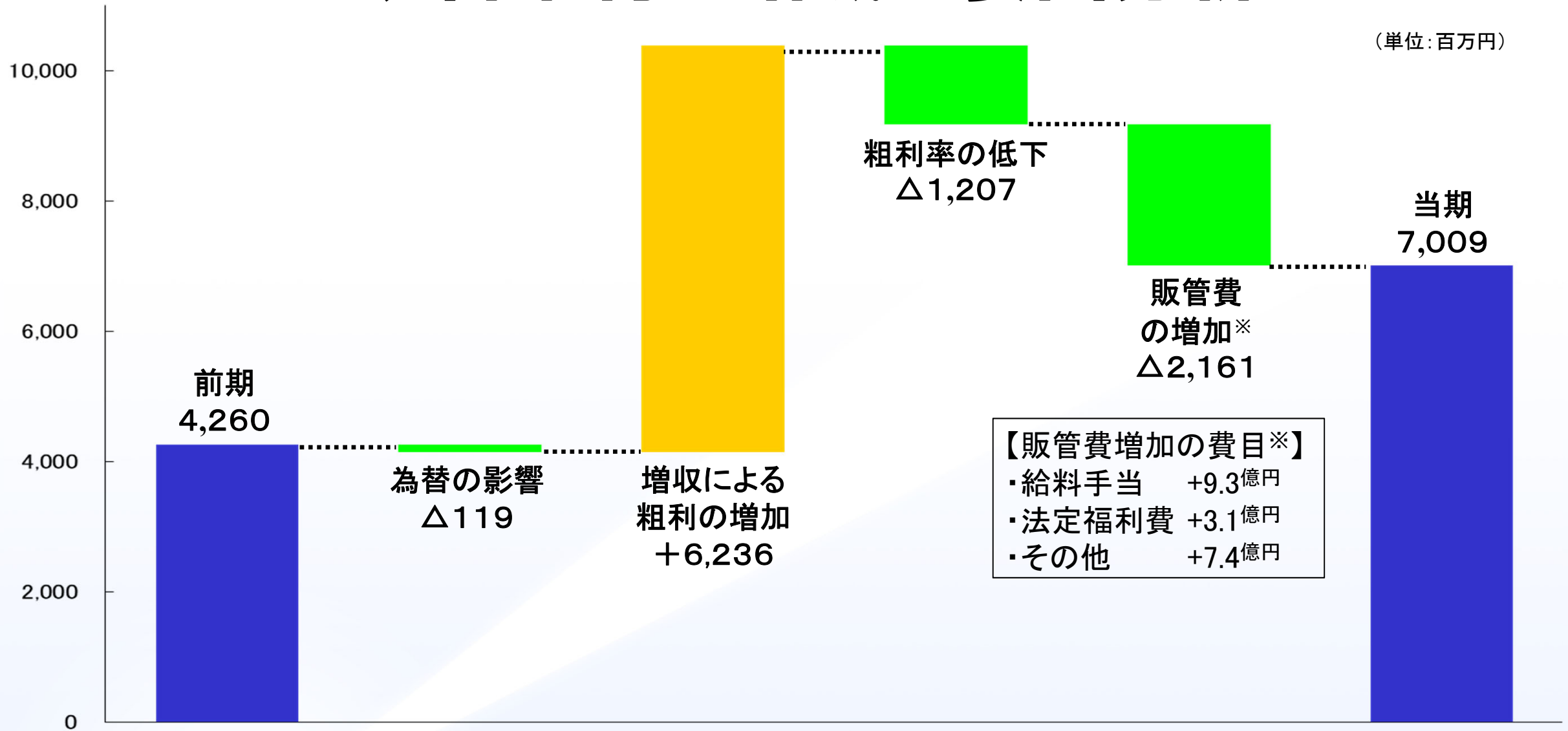
1

第2四半期決算の概要（連結）

1) 当第2四半期の決算概要

	前第2四半期 累計(2018/9)	当第2四半期 累計(2019/9)			(単位:百万円、単位未満切捨て)
		期初予想	実績	対前年同期 増減率(%)	
売上高	79,050	84,500	89,735	13.5	
国内売上高	57,857	－	67,445	16.6	
海外売上高	21,192	－	22,289	5.2	為替影響除く: +7%
売上総利益 (売上総利益率)	38,649 48.9%	－	43,354 48.3%	12.2	自社品 売上比率 2018/9 64.1%
営業利益 (営業利益率)	4,260 5.4%	4,500 5.3%	7,009 7.8%	64.5	2018/9 為替差益 2019/9 為替差損 701百万円 855百万円
経常利益	5,270	4,500	6,334	20.2	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,916	3,000	3,943	0.7	【特別損失】 和解金 建物解体費用 440百万円 133百万円
平均レート	(2018/9)	(2019/9)			
1米ドル	109.7円	109.2円			
1ユーロ	129.2円	121.9円			

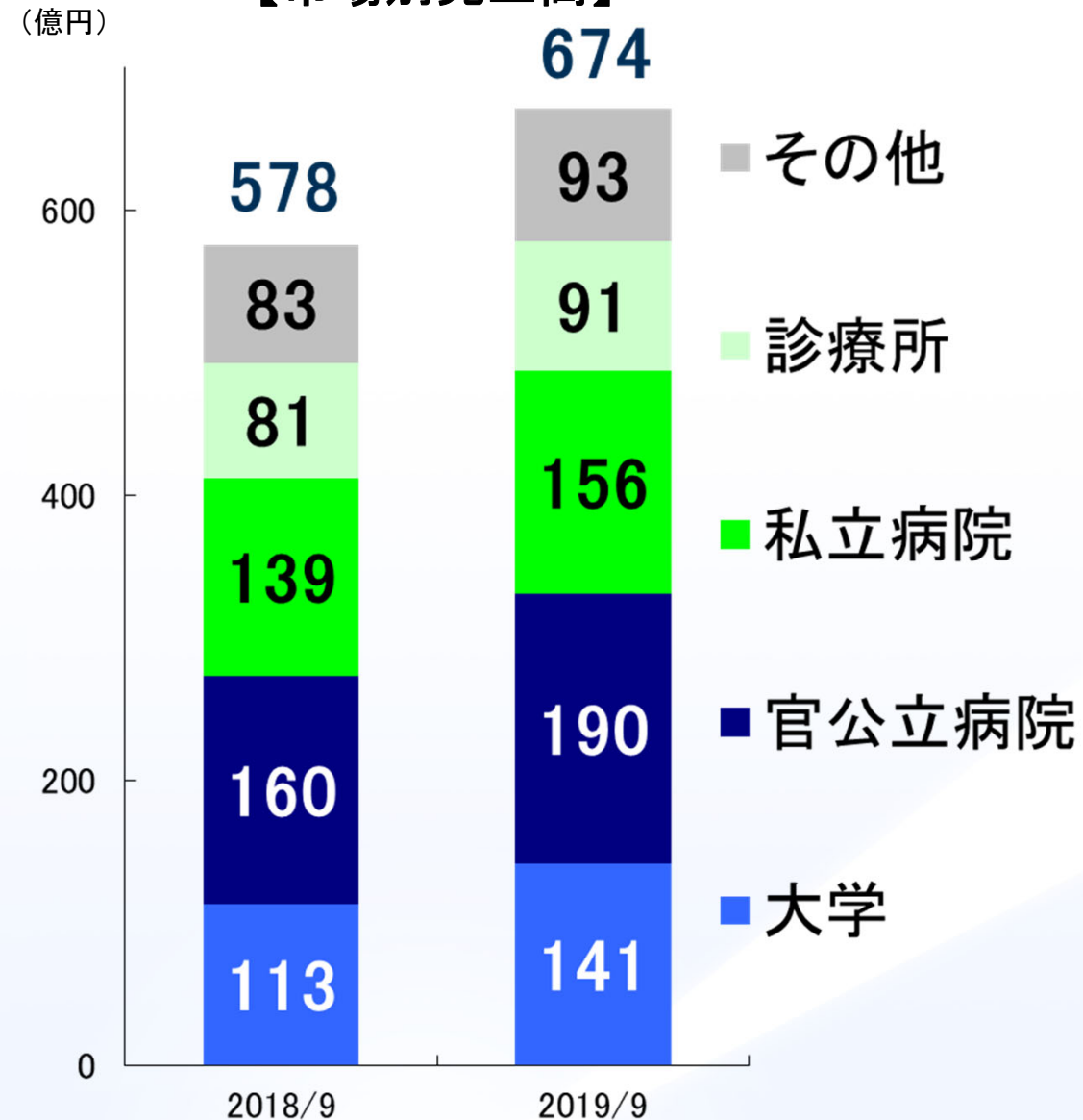
2) 営業利益増減の要因分析



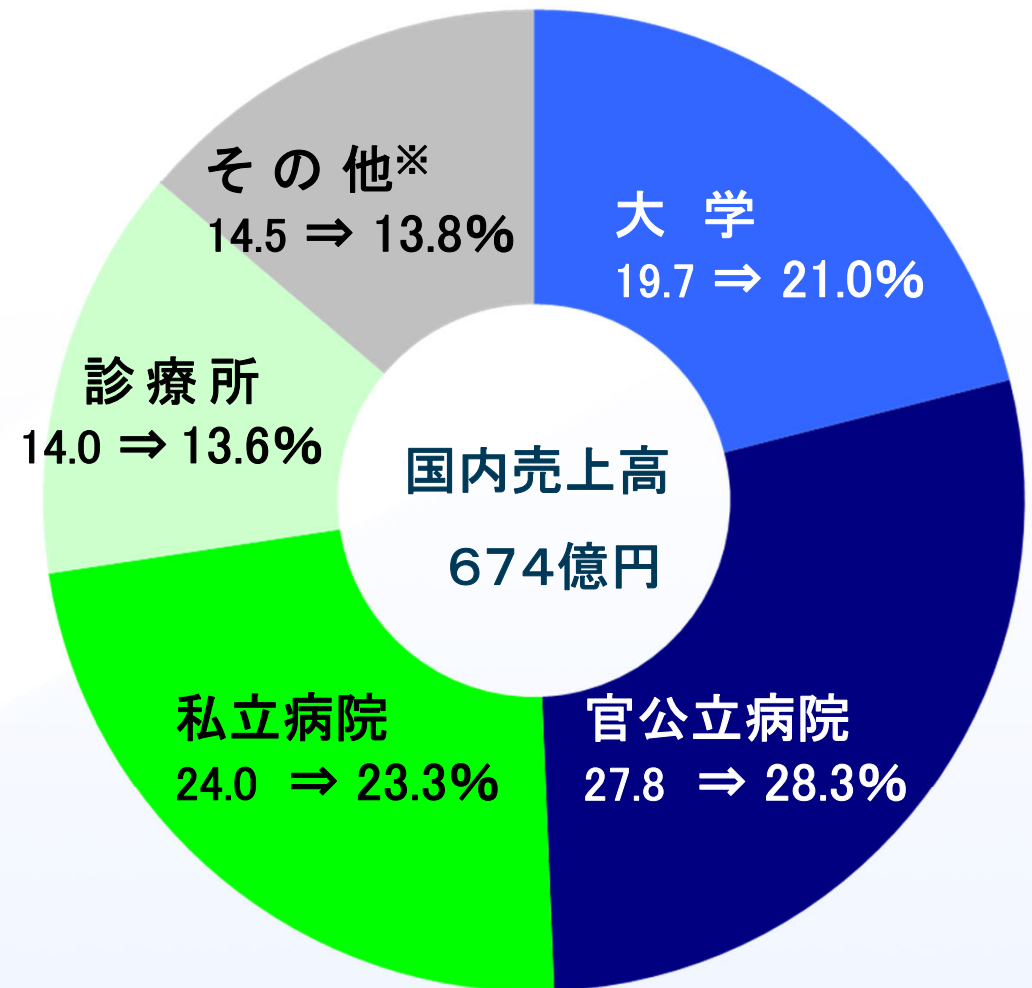
※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増加の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増加金額を表しています。

3) 国内売上高

【市場別売上高】



市場別売上構成比
(2018/9⇒2019/9)

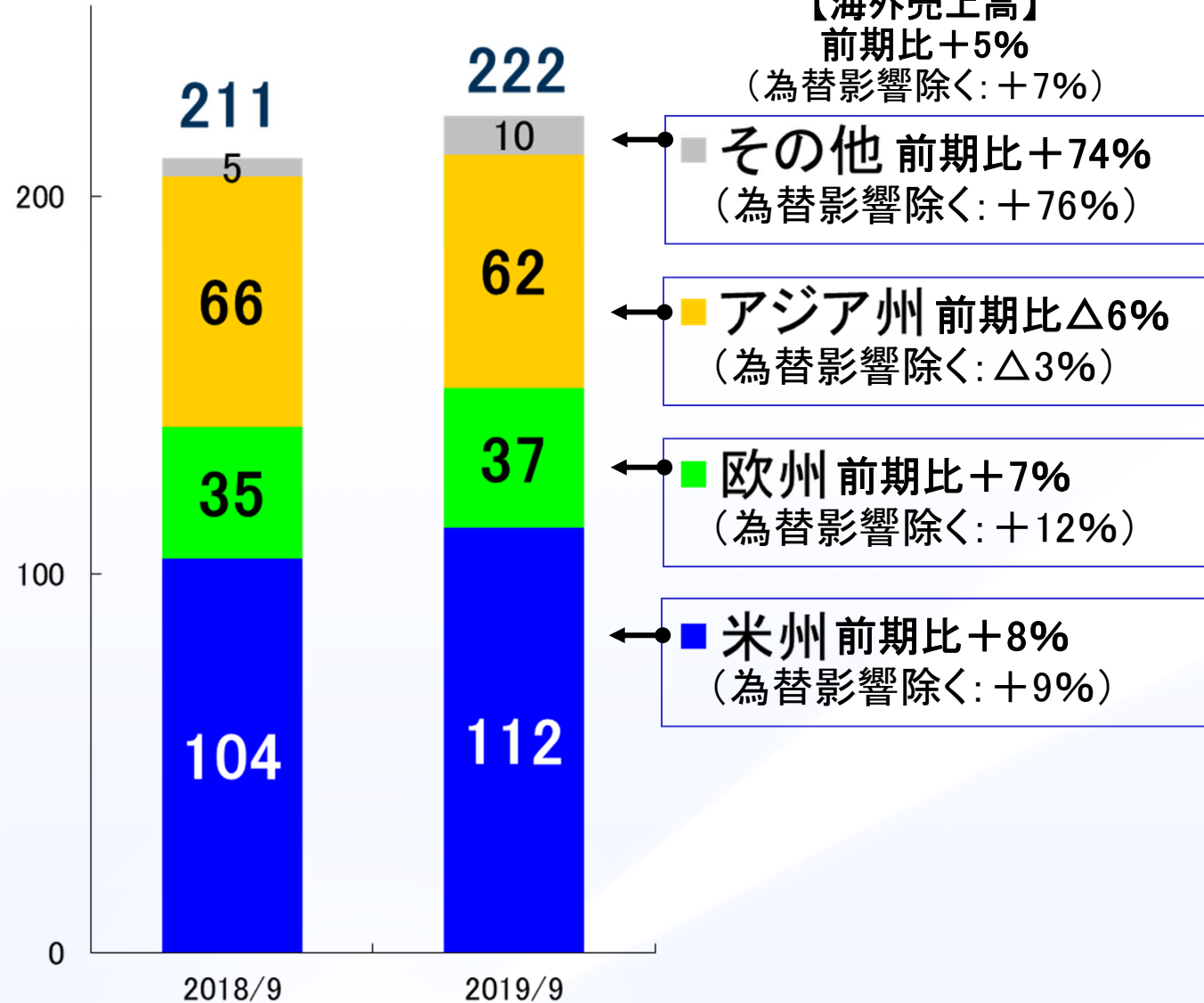


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、
AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)

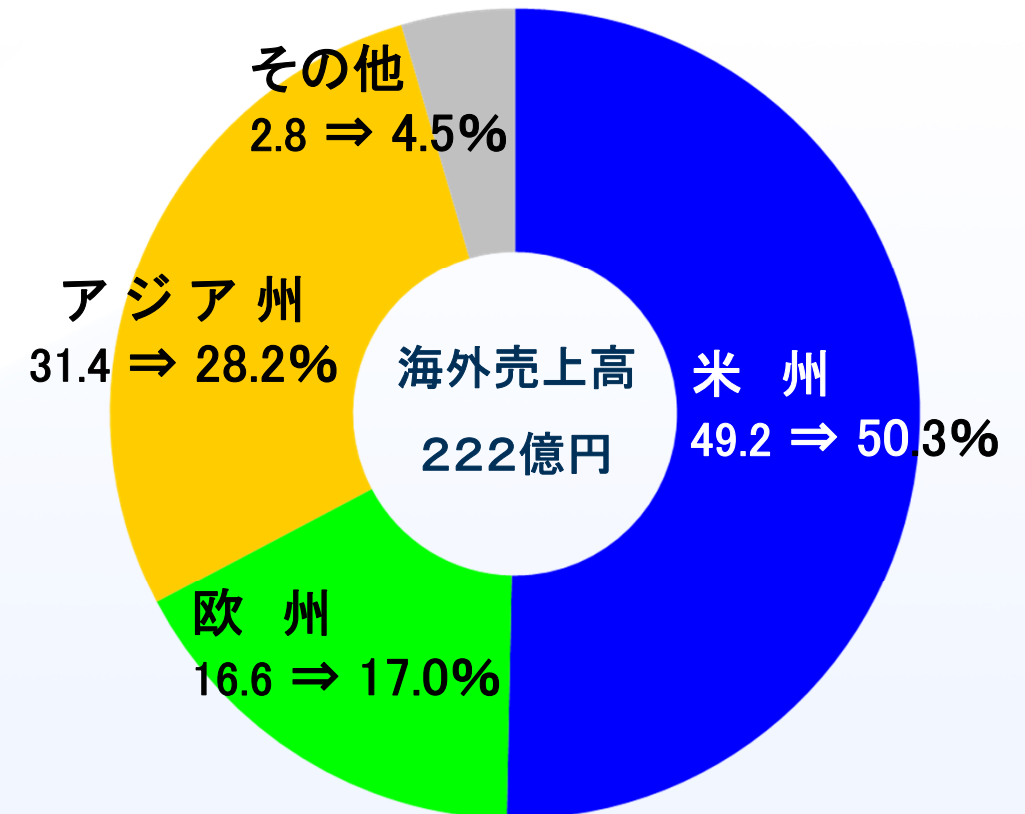


海外売上高比率

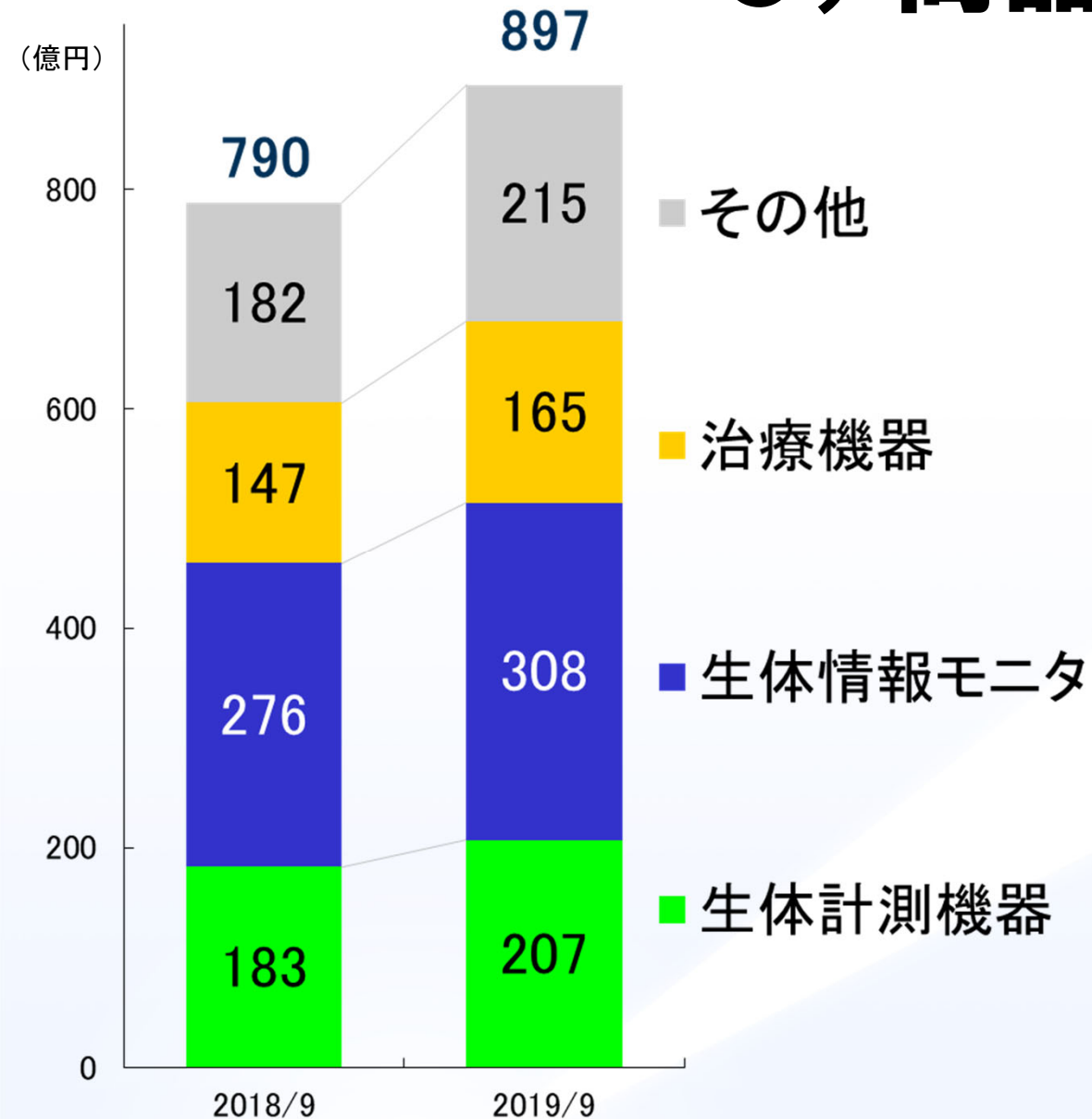
2018/9	2019/9
26.8%	24.8%

地域別構成比

(2018/9⇒2019/9)

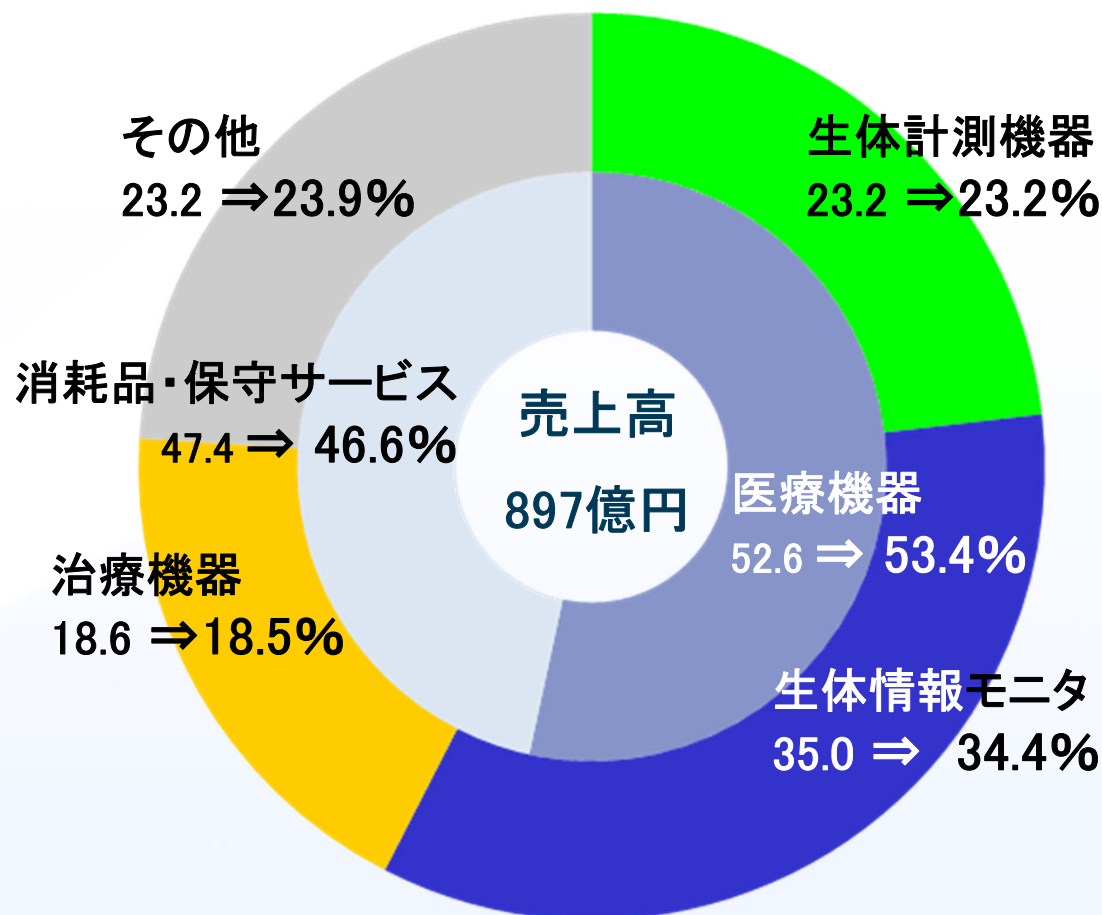


5) 商品群別売上高



商品群別売上構成比

(2018/9⇒2019/9)



5.1) 生体計測機器

	前第2四半期 累計(2018/9)	当第2四半期 累計(2019/9)	増減率(%)	(単位:百万円)
脳 神 経 系 群	3,448	3,620	5.0	
心 電 計 群	3,281	3,380	3.0	
心臓カテーテル検査装置群	6,902	8,204	18.9	← 新築移転商談の寄与もあり、心臓カテーテル検査装置が大幅増収。電極カテーテルも好調
その他(診断情報システム等)※	4,719	5,577	18.2	← 消費税率引上げ前の年度予算執行前倒しにより、診断情報システムの更新商談が増加
生 体 計 測 機 器 合 計	18,351	20,782	13.2	
う ち 国 内 売 上 高	14,387	16,627	15.6	
う ち 海 外 売 上 高	3,964	4,155	4.8	← 心電計群は前年同期を下回るも、脳神経系群は堅調に推移

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



5.2) 生体情報モニタ

	前第2四半期 累計(2018/9)	当第2四半期 累計(2019/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	27,667	30,855	11.5
うち国内売上高	16,718	19,984	19.5
うち海外売上高	10,948	10,870	△ 0.7

(単位:百万円)

新築移転商談の受注や新製品効果で
ベッドサイドモニタが好調。臨床情報
システムの更新商談も増加

欧州は好調に推移するも、米州は前年
同期並み、アジア州が前年同期を下回る



CSM-1501



CSM-1502



CSM-1701



CSM-1702

NEW!



ベッドサイドモニタ
PVM-4000

NEW!



スポットチェックモニタ
SVM-7200

NEW!



医用テレメータ
WEP-1400



SpO₂
プローブ



cap-ONE
バイトブロック



心電図
電極

消耗品関連

5.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2018/9)	当第2四半期 累計(2019/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	2,453	2,879	17.4
A E D	7,031	7,479	6.4
ペースメーカー・ICD	1,558	1,625	4.3
人工呼吸器	993	1,603	61.4
その他	2,704	2,970	9.8
治療機器合計	14,741	16,558	12.3
うち国内売上高	10,528	11,922	13.2
うち海外売上高	4,213	4,635	10.0

【国内】病院、消防での更新商談受注

【海外】欧州、アフリカで好調に推移

【国内】新製品効果により販売台数増加

【海外】全ての地域で増収

【国内】新築移転商談の受注もありハミルトン社製が好調。自社製新製品NKV-330も寄与

(参考) AED販売台数	44,200台	45,000台	1.8
うち国内販売台数	24,700台	26,200台	6.1

NEW!



除細動器
EMS-1052

NEW!



AED
AED-3150



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
HAMILTON-C1

NEW!



人工呼吸器
NKV-330

NEW!



人工呼吸器
NKV-550

5.4) その他

	前第2四半期 累計(2018/9)	当第2四半期 累計(2019/9)	増減率(%)
検体検査装置	4,234	4,884	15.3
画像診断装置、 研究用機器他※	14,055	16,655	18.5
その他合計	18,290	21,539	17.8
うち国内売上高	16,223	18,911	16.6
うち海外売上高	2,066	2,628	27.2

(単位: 百万円)

検体検査装置が診療所市場で好調に推移。
医療機器の設置工事、現地仕入品も前年
同期を上回る

血球計数器が中南米、中近東、アフリカで
大幅に伸長。米国における医療機器設置
サービスの繰延処理の変更も影響

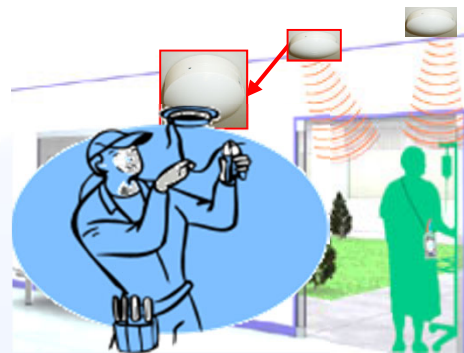
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9100



全自動血球計数・
免疫反応測定装置
MEK-1303



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位: 百万円)

	前期末 2019/3	当第2四半期末 2019/9	増減額
流動資産	132,211	119,780	△ 12,431
たな卸資産	28,599	29,540	941
有形固定資産	19,945	19,925	△ 20
無形固定資産	4,563	4,251	△ 311
投資その他資産	12,997	13,599	602
資産合計	169,717	157,556	△ 12,160

	前期末 2019/3	当第2四半期末 2019/9	増減額
流動負債	48,346	34,618	△ 13,727
有利子負債	406	373	△ 33
固定負債	5,282	5,118	△ 164
純資産	116,087	117,818	1,730
負債・純資産合計	169,717	157,556	△ 12,160

たな卸資産回転月数	3.7ヵ月	3.6ヵ月	
-----------	-------	-------	--

自己資本比率	68.4%	74.8%	
--------	-------	-------	--

7) 設備投資と研究開発費

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2018/9)	当第2四半期 累計(2019/9)	2019/3 前期実績	2020/3予想	
				期初	11月5日修正
設備投資額	1,375	1,609	3,049	4,700	4,600
減価償却費	1,630	1,695	3,542	3,900	3,800
研究開発費	3,741	3,162	7,243	7,600	7,200

【設備投資の上期実績】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、東日本物流センタ設備

【2020/3期設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、ドバイ試薬工場(2億円)、東日本物流センタ(4億円) → 企画賃貸型のため、投資は移動ラックなど物流設備のみ

2

通期の業績見通し

1) 経営環境

国内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

- ・2018年度末、各都道府県は地域医療構想調整会議で個別の病院名や転換病床数等の具体的対応方針を策定
- ・地域医療介護総合確保基金 2019年度 1,034億円(医療)

2019年9月 424の公立・公的病院名公表、再編検討を促す

2019年10月 消費税率引上げに伴う診療報酬改定
診療報酬本体改定率+0.41%

- ・病院は、地域医療構想に沿って病床再編を具体化
- ・消費税率引上げに伴う駆け込み需要・反動減の影響

海外

欧米諸国

- ・医療の質と効率性の向上
- ・米国IDN※1の拡大、サイバーセキュリティ要求増
- ・欧州GPO※2など集中購買の広がり

新興国

- ・一部地域で景気の先行き、政策動向に不透明感、現地通貨下落の影響
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は底堅く推移

※1 IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク ※2 GPO: Group Purchasing Organization グループ購買組織

2) 下期の取り組み

TRANSFORM 2020 高収益体質への変革

1

高い顧客価値の創造

顧客価値の高い自社製品の投入

2019/3期～2020/3期の新製品（許認可申請の審査期間等によって、各国での実際の発売時期は異なります）

臨床検査機器事業



脳波計
EEG-1290



心電計
ECG-3150



超音波画像
診断装置
TUP-C035J

生体情報モニタリング事業



ベッドサイドモニタ
PVM-4000



スポットチェックモニタ
SVM-7200



医用テレメータ
WEP-1400



中位機種ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700シリーズ

米国市場投入
製品サイバー
セキュリティ対策の強化

2020年度上期
米FDA再申請を目指す

治療機器事業

AED



一般家庭向け カラー画面付
AED-3101 AED-3150



除細動器
EMS-1052

人工呼吸器



NKV-330



NKV-550

2) 下期の取り組み

TRANSFORM 2020 高収益体質への変革

2

組織的な生産性の向上

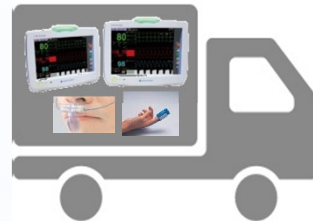
生産・物流

東日本物流センタ

2019年11月 本格稼働



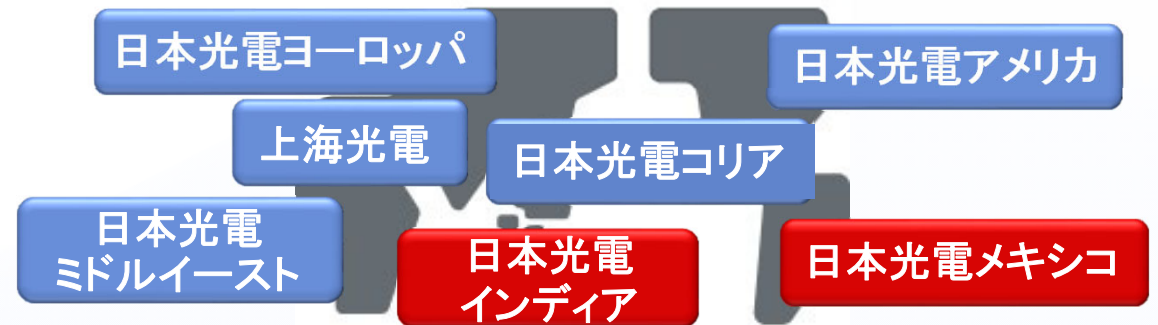
機器と
消耗品を
集約



機器と消耗品の同梱
出荷で物流コスト削減

グループ全体

- ・ ERPのグローバル展開
 - － 今期は、メキシコ、インドに導入



- ・ 本社-国内支社支店間の
業務処理フローの電子化

3) 通期の業績見通し

	前期実績 2019/3	2020/3予想			増減率 (%)
		期初	6月17日修正	11月5日修正	
売上高	178,799	186,000	186,000	186,000	4.0
国内売上高	130,223	133,000	133,000	134,500	3.3
海外売上高	48,575	53,000	53,000	51,500	6.0
売上総利益 (売上総利益率)	85,987 48.1%	90,200 48.5%	90,200 48.5%	89,800 48.3%	4.4
営業利益 (営業利益率)	15,044 8.4%	16,000 8.6%	16,000 8.6%	16,000 8.6%	6.4
経常利益	15,867	16,000	16,000	16,000	0.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,191	11,000	10,700	10,700	△ 4.4

(単位: 百万円)

対期初計画: +15億円

対期初計画: △15億円
対前期増減率(為替影響除く): +9%

【地域別海外売上高】

	前期実績 2019/3	2020/3予想		増減率 (%)
		期初	11月5日修正	
米州	23,508	25,500	24,600	4.6
欧州	8,167	8,900	8,600	5.3
アジア州	15,096	16,000	15,600	3.3
その他	1,802	2,600	2,700	49.8
海外計	48,575	53,000	51,500	6.0

海外売上高比率	27.2%	28.5%	28.5%	27.7%
---------	-------	-------	-------	-------

平均レート

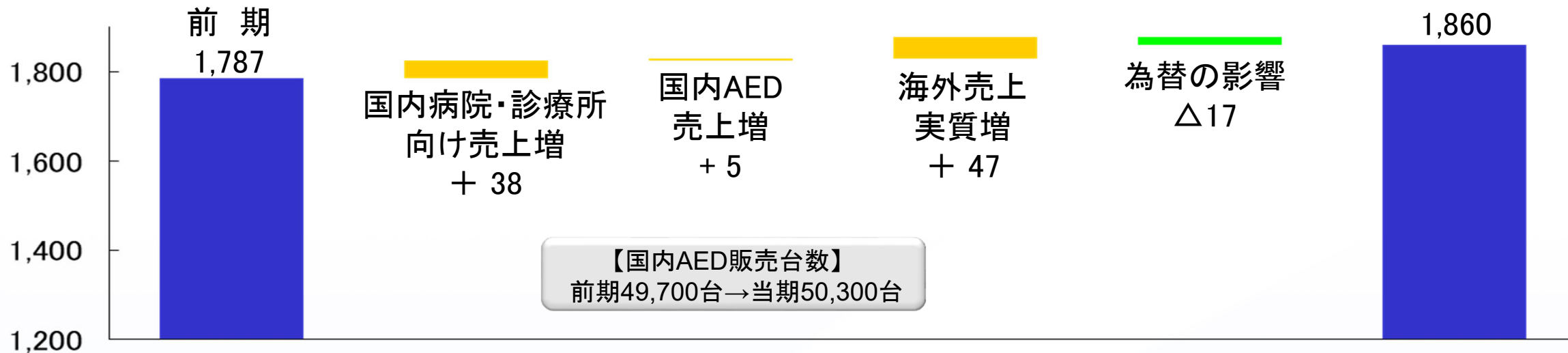
米ドル	110.8円	108円	108円	108.5円
ユーロ	128.5円	125円	125円	121円

(下期)

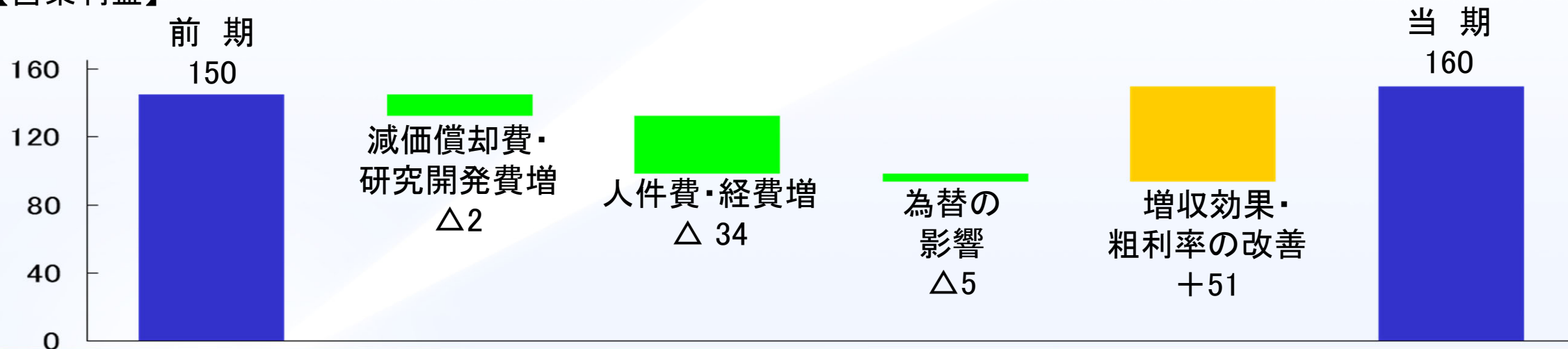
108円
120円

4) 通期見通しの要因分析

【売上高】



【営業利益】



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

	前期実績 2019/3	2020/3予想			増減率(%)
		期初	11月5日修正	構成比(%)	
生体計測機器	40,773	41,700	41,850	22.5	2.6
生体情報モニタ	61,978	66,150	64,500	34.7	4.1
治療機器	33,149	34,250	34,750	18.7	4.8
その他	42,898	43,900	44,900	24.1	4.7
売上高合計	178,799	186,000	186,000	100.0	4.0

(単位:百万円)

(ご参考)

消耗品・保守サービス	79,226	83,000	83,100	44.7	4.9
------------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.1億円	0.9億円
ユーロ	0.5億円	0.2億円

3

当社の経営戦略

中期経営計画 TRANSFORM 2020

高収益体質への変革

基本方針

1

高い顧客価値の創造

2

組織的な生産性の向上

6つの重要課題

地域別事業
展開の強化

コア事業の
さらなる成長

新規事業の
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

企業体質の強化

人財育成・組織風土改革

地域別事業展開の強化

日本

高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

✓ 新製品・サービスの投入による 市場別事業展開の強化

高度急性期・
急性期

中位機種ベッドサイドモニタ



CSM-1500/1700シリーズ

人工呼吸器



NKV-330

回復期

ベッドサイドモニタ



PVM-4000

スポットチェックモニタ※1



SVM-7200

医用テレメータ



WEP-1400

慢性期

救急車

除細動器



EMS-1052

カラー画面
付AED

AED-3150



診療所



LAVITA®

PrimePartner

一般家庭
向けAED

AED-3101



在宅ケア

✓ 販売・サービス体制の強化・再編

2016/4

病院営業

GP※2営業

2017/4

販売子会社制 ▶ 支社・支店制に移行

2018/4

首都圏に営業リソースを重点配備

「顧客価値提案」の推進

医療安全

診療実績

業務効率

につながる

提案営業力の強化、サービスの拡充

予防保守契約プラン



Preventive
plan



医療機器リモート監視システム

MD Linkage

※1 日本ではコンティニアス・モード限定

※2 GP: General Practitioner 総合診療医

アメリカ

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

- ✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供

生体情報モニタ

生体情報モニタ
市場シェア目標12%



治療機器

defibtech



脳神経系群



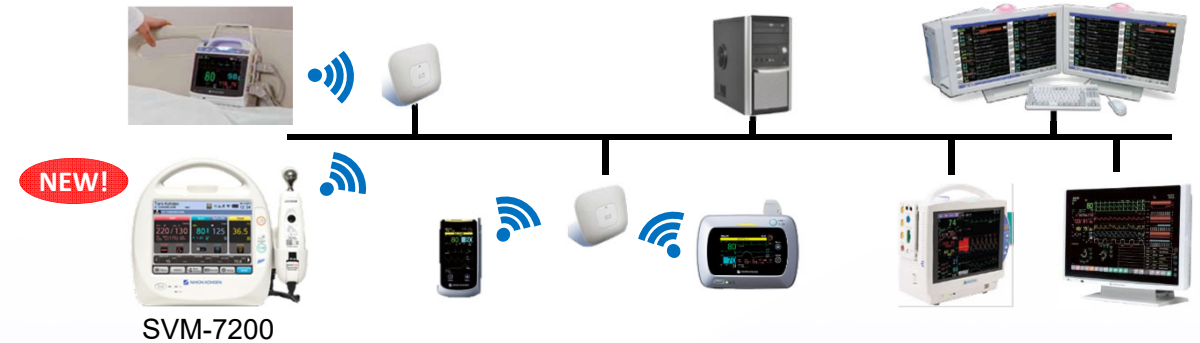
人工呼吸器市場への参入

2019年度下期
米国での臨床
評価を開始

2020年度
日本光電アメリカ
が販売予定



- ✓ スポットチェックモニタの投入により、院内の全ての患者データの一元管理が可能に



中位機種ベッドサイドモニタの投入

米FDA申請を取り下げ

2018年5月 FDAに510(k)申請
2018年12月～ 米連邦政府閉鎖で
一時中断
2019年3月 FDAとの協議が再開
2019年9月 申請を取り下げ

製品サイバー セキュリティを強化

- ・機器の追加試験等を実施
- ・市販後マネジメントの強化

2020年度上期
再申請を
目指す

【ご参考】 FDAサイバーセキュリティ・ガイダンス

2014年10月Final Guidance: Content of Premarket Submissions for Management of Cybersecurity in Medical Devices
2016年12月Final Guidance: Postmarket Management of Cybersecurity in Medical Devices
2018年10月Draft Guidance: Content of Premarket Submissions for Management of Cybersecurity in Medical Devices

新興国

新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

✓ 新製品の投入による提案力の強化



✓ 上海光電製のラインアップ拡充 ✓ 輸出の拡大



サウジアラビア
政府案件で
モニタ商談受注
(CSM-1700・1,000台)
ドバイ
検体検査試薬工場設立
(2020年度生産開始予定)



日本光電
ミドルイースト

日本光電
インド

上海光電

日本光電コリア

NKSバンコク

日本光電マレーシア

日本光電
シンガポール

日本光電メキシコ

日本光電
ラテンアメリカ

日本光電
ブラジル

コア事業のさらなる成長

在宅ケア

救急医療

検査・診断

手術・治療

リハビリ

臨床検査機器事業

脳神経系群

循環器検査
機器群

検体検査機器

センサ技術



生体情報
モニタリング事業

治療機器事業

IT ソリューション事業

消耗品・サービス事業

✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に貢献するモニタリングソリューションの提供

製品ラインアップの拡充・ネットワーク対応

コア技術の融合による 高付加価値化

救急
ICU
手術室

医用テレメータ/無線LAN

中位機種ベッドサイドモニタ

CSM-1500/1700

CSM-1900

BSM-1700
シリーズ

医用テレメータ

WEP-1400

スポットチェック
モニタ※

SVM-7200

上海光電製

新興国向け
ベッドサイド
モニタ

PVM-4000

※ 日本ではコンティニアス・モード限定

一般
病棟
・
回復期
病棟

GZ-130P

GZ-140P

INIBP

ZS-640P



ベッドサイドモニタ画面例

筋弛緩モジュール

- 筋電図計測技術を筋弛緩モニタリングへ応用
- 簡単装着でスピーディに測定開始
- 腹腔鏡手術等様々な術式に対応可能

救急蘇生分野における トータルソリューションの提供

【救急車】 



救急車搭載除細動器
EMS-1052

- ・ クラス最小・最軽量を実現し、機動性を追求
- ・ 操作性、モニタリング機能を向上
- ・ 独自技術による高付加価値化

synECG18
Synthesized Electrocardiogram
導出18誘導心電図※1



ETCO₂ Audible Cue
換気中のETCO₂管理を音でサポート

人工呼吸器事業の早期立ち上げ

1. NPPV※2人工呼吸器の投入

総合技術開発センタで開発

ターゲットは一般病棟

2019年度Q1発売
(日本、欧州、新興国)

《診療実績》患者さんのQOL向上

- ・ 日本人の骨格形状にフィットするようにマスクを独自にデザイン
- ・ フィット性の向上でリークが低減、皮膚トラブルのリスクも軽減、患者さんの快適性も向上



《医療安全》安全な呼吸管理を提供

- ・ NPPV中もSpO₂とCO₂のモニタリングが可能



NKV-330

※1 12誘導心電図の波形をもとに、右側誘導、背部誘導の波形を演算により導出する技術

※2 NPPV (noninvasive positive pressure ventilation): 非侵襲的陽圧換気。気管内挿管や 気管切開を行わない人工呼吸管理

人工呼吸器事業の早期立ち上げ

2. 日本光電オレンジメッド製人工呼吸器の投入

米国で開発・生産

ターゲットはICU

2019年度Q2
新興国発売

2019年度Q3欧州発売、
米国での臨床評価開始を予定

《診療実績》

患者さんの肺保護

- 人工呼吸管理の第一人者のドクターからアドバイス
- 人工呼吸器関連肺傷害の予防を目的としたアプリケーションを提供

Gentle Lung™



《医療安全》

安全な呼吸管理を提供

- 日本光電の独自技術を搭載し、SpO₂とCO₂をモニタリング



感染リスクを低減

- 病室外からの操作が可能

Protective Control™



NKV-550



利益配分の基本方針

成長投資

株主還元

将来の企業成長に必要な投資を継続

研究開発

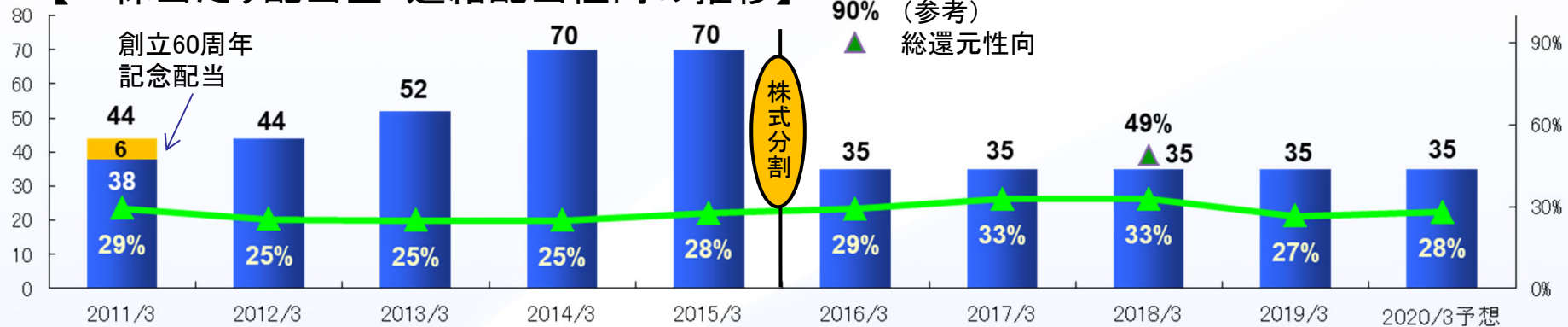
設備投資

M&A、提携

人財育成

- ✓ 長期にわたって安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標
- ✓ 配当を重視し、自己株式の取得は機動的に検討

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

自己株式の取得・消却状況

2018/3/2
50万株を取得



2018/5/21
100万株を消却



自己株式保有: 357万株
(持株比率: 4.0%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003